

日本科学者会議
第 21 回総合学術研究集会（於京都）
3rd Circular

基本テーマ：科学と社会との緊張関係

—現代社会が求める科学者の社会的責任—

開催日時：2016年9月2日(金)～4日(日)

開催場所：龍谷大学深草学舎（京都市伏見区深草塚本町 67 番地）

21 総学まであと 2 か月となりました。ここに会員のみなさまに 3rd サーキュラーをお届けし、改めて 21 総学への参加を呼びかけます。

この間、21 総学実行委員会では 5 回の実行委員会を開催し、総学の準備を進めてきました。先に開催された第 47 回定期大会での議論を通じて、日本科学者会議の発展方向についての検討が深められました。21 総学は、定期大会での議論をいっそう深めるものとしても位置づけられます。

「3. 1 1」後における原発をめぐる動きや、昨年来の戦争法（安保法制）をめぐる動き、そして軍学共同をめぐる動きなど、科学と社会との関係をめぐっては厳しい状況が続いています。このようなもとの、「科学を人類に役立て正しく発展させていく」ことを掲げている日本科学者会議が果たすべき役割は極めて大きいと思われる。21 総学での議論を通じて、科学の発展と社会の進歩にする道を探りたいと考えています。

プログラムをご覧いただければお分かりのように、21 総学では、これまでの総学のような基調講演や特別講演を予定していません。初日の午後と 3 日目の午後に全体集會を開催し、問題提起とそれを踏まえた総合討論という形で、「科学と社会との緊張関係—現代社会が求める科学者の社会的責任—」についての議論を深めていきます。そのうち 3 日目の午後は、「日本科学者会議再構築の検討」のテーマで集中的に論議します。

分科会については 2 日目の午前と午後、そして 3 日目の午前に、それぞれ 3 時間半の枠を設定しました。全体で 30 の分科会が開催されます。それぞれの分科会で十分議論を深めていただくことを期待します。

初日の午前には、エクスカージョンを企画いたしました。龍谷大学図書館が寄託資料として保管している安重根（アンジュンゲン）の遺墨をご覧いただく機会を設けました。安重根についてはさまざまな評価があることを承知していますが、この機会に東アジアの平和について考察いただければ幸いです。

初日の夕刻には、市民向け講座を開催します。高山佳奈子さん（京都大学大学院法学研究科）に「なぜ安保法制に反対するのか—学者の良心と京都大学での闘いを中心に—」と題して講演いただきます。京都大学における安保法制反対の闘いに加えて、学問の自由や大学の自治をめぐる状況にも言及いただく予定です。

9 月の中旬の京都はまだまだ残暑の厳しい時期ですが、「暑い京都で熱い議論」をご一緒と思います。みなさまのご参加を心からお待ちしています。

2016年7月1日 日本科学者会議第21回総合学術研究集会実行委員会

目次

- P1 1. 開催日程
- P2 2. 全体集會, 市民講演会, 交流会
- P3 3. 参加費, 参加申し込み, 保育室
- P4 4. 分科会の配置
- P5 5. 分科会のプログラム
- P14 6. ポスターセッションについて
- P14 7. エクスカージョンについて
- P16 JSA 若手「夏の学校」2016 in 京都

1. 開催日程

日	午前	午後	夕
9月 2(金)	11:00~12:00 エクスカーショ (龍谷大深草図書館) 安重根の遺墨と資料	13:00~13:30 開会式 13:30~18:00 全体集会 問題提起・総合討論①	18:30~20:30 市民向け講座
9月 3(土)	9:30~13:00 分科会 I	13:00~14:00 ポスターセッション (掲示: 4日終了まで) 14:00~17:30 分科会 II	18:00~20:00 懇親会
9月 4(日)	9:30~13:00 分科会 III	14:00~16:30 全体集会 問題提起・総合討論②	

※ 会場は和顔(わげん)館です(B1××は地下1階, B2××は地下2階の教室)。懇親会は22号館地下食堂で開催します。P15のキャンパス・マップを参照してください。

2. 全体集会, 市民講演会, 交流会

【全体集会】

問題提起と総合討論①

(2日午後, B201)

- | | | |
|---------------------|-------|---------------|
| 1 憲法, 平和 | 奥野恒久 | 京都支部 (龍谷大) |
| 2 核兵器, 原発 | 山本富士夫 | 福井支部 (元福井大) |
| 3 エネルギー, 地球環境 | 河野仁 | 大阪支部 (元兵庫県立大) |
| 4 軍学共同 | 赤井純治 | 新潟支部 (元新潟大) |
| 5 グローバリゼーションと市民の暮らし | 米田貢 | 東京支部 (中央大) |

(備考: 各テーマ, 報告20分と討論30分)

問題提起と総合討論②

(4日午後, B201)

「日本科学者会議再構築の検討」

コーディネーター: 井原聰 (全国事務局)

- 1 井原聰 : 日本科学者会議の今後の展望について
- 2 細川孝 : 大学をめぐる状況と日本科学者会議
- 3 竹森正孝 : 日本科学者会議の組織改革の課題
- 4 松田正久 : 日本科学者会議の研究助成と財政改革課題
- 5 牧良明 : 日本科学者会議と女性研究者・若手研究者
- 6 橋本誠一 : 日本科学者会議の職員の位置づけ

【市民向け講座】

(2日夜, B201)

高山佳奈子(京都大学)「なぜ安保法制に反対するのか—学者の良心と京都大学での闘いを中心に—」

※ 21総学参加以外の方もご参加いただけます(参加費無料)。

【交流会】

女性研究者技術者交流会（ランチセッション）

- ・日時：9月4日（日）13:00～14:00（分科会D-5の終了後、同じ会場にて開催）
 - ・会場：和顔館B207教室 会費：500円
 - ・予約先：福島知子 t-fukushima[at]crocus.ocn.ne.jp（[at]はアットマーク）
または FAX で清水民子 075-752-5107 まで。
- ※ 男女を問わず、どなたでも参加できます。

3. 参加費，参加申し込み，保育室

【参加費・懇親会費・予稿集代】

- ・事前参加登録（予稿集代を含む）
 - 参加費：一般3,000円，院生・学生1,000円
 - 懇親会費：一般3,500円，院生・学生1,000円
 - ※ 事前参加申し込みは、2016年8月19日（金）までとします（申し込み期間を延長しました）。
 - ・当日参加登録（事前登録締切日以降の申込者，予稿集代を含む）
 - 参加費：一般3,500円，院生・学生1,000円
 - 懇親会費：一般4,000円，院生・学生1,000円
 - ・1日券（当日受付現金支払いのみ）
 - 一般（1日券）：1,500円
 - 学生・院生（1日券）：500円
 - ・予稿集（頒布価格）1,500円
- ※ お弁当の手配は行いません（9月3日（土）は生協食堂が営業しています。4日（日）は大学周辺の食堂マップを配布しますので、近隣の食堂の利用をお願いします）。

【参加申し込み】

- ・当日受付の混雑を避けるため、できるだけ事前申込みをお願いします。参加費割引あり。
- ・振替用紙には、氏名、連絡先、「会員、非会員」、「一般、院生・学生」、「懇親会参加（有、無）」を明記し、合計金額を下記の金融機関に振り込んでください。

金融機関名	郵便振替口座
名義	日本科学者会議 21 総学実行委員会
口座番号	00910-4-275657
- ・3rdサーキュラーに振替用紙を同封しましたのでご利用ください。
- ・振込の控えは会場の受付までお持ちください。

【保育室について】

- ・保育室の利用を希望される方は、8月19日（金）までに実行委員会 (sogaku21@mbox.kyoto-inet.or.jp) へご相談ください。希望状況に応じた保育室の設置を検討します。

4. 分科会の配置

分科会番号, 分科会テーマ, 開催場所 (プログラムは P5~P14 に掲載) .

課題	3 日午前 (9:30~13:00)	3 日午後 (14:00~17:30)	4 日午前 (9:30~13:00)
A. 憲法・平和・思想	A-1 平和の構築と科学者の責任 第 1 部と第 2 部 B105	A-1 平和の構築と科学者の責任 第 3 部 B105	A-2 医学における軍事研究—731 部隊の教訓を今に— B105
	A-5 戦後日本の科学運動, 科学者運動 B106	A-4 メディアの政権監視姿勢と読者・視聴者の行動 B202	A-3 「アベ政治」の批判的解明—「21 世紀型の市民革命」をめざして B106
	A-7 近代化・近代社会を問い直す B202	A-8 21 世紀社会の将来像 B106	A-6 ヘイト・スピーチ裁判の現状と課題—法律家と市民の責任をめぐって— B202
B. 経済・医療・暮らし		B-1 食と農の政策科学—TPP と震災食と農水を考える— B203	B-3 地域から日本経済の变革を考える B203
		B-2 瀬戸内における地域再生の現状と課題—第 33 回瀬戸内シンポジウム— B204	B-5 介護者の人材養成 B204
		B-4 保健・医療・福祉における生命と倫理 B205	
C. 公害・環境・エネルギー・災害問題	C-1 福島原発災害 5 年 第 1 部 津波・地震と原発災害, 再稼働問題 B206	C-1 福島原発災害 5 年 第 2 部 原発裁判の争点と科学者の寄与 B206	C-4 大震災 (阪神・淡路, 東日本) からの教訓をどう生かすか B205
	C-2 原発事故から避難する権利 B207	C-3 公害・環境問題の現在 B207	C-6 COP21 パリ協定を人類の未来につなぐ B206
		C-5 災害問題分科会 B209	
D 科学・技術・教育・社会	D-1 第 6 回複雑系科学シンポジウム B204	D-3 産軍学共同の推進, イノベーション実現のための「大学改革」等で日本の学術研究はどうか B102	D-5 科学・技術 (学問) をめぐるジェンダー問題 B207
	D-2 後期中等教育・高等教育における「無償教育の漸進的導入」 B205	D-4 研究不正の実態と有効な防止策を考える B210	D-7 大学の危機を乗り越えるために—財界の利害優先から市民視点への転換を目指して— B208
	D-9 独立行政法人制度を問い直す—大学・試験研究機関を国民の手に取り戻すには?— B203	D-6 大学院生, 若手研究者の研究環境と JSA 活動の意義 B101	D-8 リニア中央新幹線問題の検討と運動・経験交流 B209
	D-11 科学・技術サロン—日本の科学・技術の現状とロマンを語る part 9— B208	D-10 科学・技術の現状批判—日本の科学・技術の健全な発展のための課題 part9— B208	

※ B 1 × × は地下 1 階, B 2 × × は地下 2 階の教室です (すべて和顔館) .

すべての会場で, パソコン, OHC, ブルーレイが使用可能です. 報告者はデータを持参ください.

5. 分科会のプログラム

A. 憲法・平和・思想

A-1 平和の構築と科学者の責任 (3日午前, 3日午後, B105)

☆ コーディネーター：亀山統一（平和問題研究委員会）

09:30～09:40 亀山統一：本分科会開催の趣旨説明

第1部 科学者の社会的責任 09:40～11:30

1-1 沢田昭二：核兵器使用政策と残留放射線影響の隠蔽-国際的な内部被曝隠蔽・過小評価研究体制の関係-

1-2 亀山統一：軍学研究推進と日本の大学

1-3 軍学共同についての報告（準備中）

1-4 自由討論

（休憩 10分）

第2部 日米安保体制と東アジアの平和 11:40～13:00

2-1 鈴木航：東アジアと中国——中国の「東アジア」論から考える

2-2 杉浦公昭：米軍基地新設への非暴力抵抗は、自然環境・平和・命を守る

2-3 自由討論

第3部 シンポジウム「辺野古から問う地方自治」 14:00～17:30

3-1 前田定孝：「辺野古から問う地方自治」基調報告

3-2 行政法学からの報告（1-2 報告を準備中）

3-3 自由討論

A1 分科会の進行について：第1部の軍学共同問題、第3部の辺野古新基地建設に係る地方自治、安全保障の問題は、今後情勢の大きな展開が想定され、それに合わせて報告・編成を準備しています。最終的なプログラムは確定次第、実行委員会を通じてお知らせします。

A-2 医学における軍事研究—731部隊の教訓を今に (4日午前, B105)

☆ コーディネーター：黒須三恵（生命と医の倫理研究委員会）

1 09:30～09:40 黒須三恵：本分科会開催の趣旨説明

2 09:40～10:05 西山勝夫：「731部隊」における研究と当該博士号授与に関する検証の現段階

3 10:05～10:30 末永恵子：占領地の医学—731部隊における兵要衛生地誌の作成

4 10:30～10:55 広原盛明：731部隊基地 荒野の中のニュータウン建設

（休憩 10分）

5 11:05～11:30 西山勝夫：科学者組織における「731部隊」の検証史

6 11:30～11:55 宗川吉汪：731 ツアー（2016年5月）に参加して

7 11:55～13:00 総合討論

A-3 「アベ政治」の批判的解明—「21世紀型の市民革命」をめざして (4日午前, B106)

☆ コーディネーター：小畑隆資（憲法研究委員会）

1 09:30～09:35 小畑隆資：本分科会の課題

2 09:35～10:00 中島茂樹：「アベ政治」の特質

3 10:00～10:25 竹内俊子：安倍政権の教育政策—「シティズンシップ教育」という視点から

4 10:25～10:50 中富公一：安倍政権の大学政策

（休憩 10分）

5 11:00～11:25 村上博：翁長沖縄県知事が具体化する日本国憲法の地方自治

6 11:25～11:50 榊原精：現代「市民運動」論—岡山の経験から

7 11:50～13:00 総合討論・まとめ

A-4 メディアの政権監視姿勢と読者・視聴者の行動 (3日午後, B202)

☆ コーディネーター: 湯山哲守 (京都支部)

- 1 14:00~14:10 湯山哲守: 本分科会開催の趣旨
- 2 14:00~14:30 西川幸: 政権から独立したNHKをめざして・・視聴者の権利と課題
- 3 14:30~15:00 中川勉・倉本頼一: メディアの萎縮と京都の視聴者運動
(休憩10分)
- 4 15:10~15:40 佐藤真理: NHK受信料をめぐる一視聴者の権利と受信料裁判
- 5 15:40~16:10 隅井孝雄: BPO (放送倫理・番組向上機構) の役割と視聴者の権利
- 6 16:10~17:30 総合討論

A-5 戦後日本の科学運動, 科学者運動 (3日午前, B106)

☆ コーディネーター: 志岐常正 (京都支部)

- 1 09:30~09:35 コーディネーター: はじめに一経過・趣旨説明
- 2 09:35~09:55 岩井忠熊: 戦後日本の科学運動の経過—民科をめぐる
- 3 09:55~10:15 安齋育郎: JSA 創成期から70年代の科学者運動と国民—原子力問題を切り口に
- 4 10:15~10:35 北村実: 科学者会議の独自性
- 5 10:35~10:55 富山仁貴: 戦後日本の歴史学における「科学者の社会的責任」
—1960年代の民科再建・2.11運動を中心に
(休憩10分)
- 6 11:05~11:25 奥西一夫: 日本科学者会議と国土問題研究会における運動論のレビュー
- 7 11:25~11:45 本多昭一: 建築とまちづくり運動における戦後の発展
- 8 11:45~12:00 志岐常正: 科学者運動, 科学的民主運動—私の問題意識
- 9 12:00~13:00 自由な情報・意見交換

A-6 ヘイト・スピーチ裁判の現状と課題—法律家と市民の責任をめぐる— (4日午前, B202)

☆ コーディネーター: 前田朗 (東京支部)

- 1 09:30~09:50 前田朗: 分科会の趣旨説明と進行
- 2 09:50~10:20 富増四季: 京都朝鮮学校襲撃事件裁判
- 3 10:20~10:50 上瀧浩子: 李信恵名誉毀損裁判
- 4 10:50~11:20 金星姫: フジ住宅ハラスメント裁判
- 5 11:20~11:50 裁判をめぐる意見交換
- 6 11:50~12:20 金尚均: ヘイト・スピーチ対策法と条例
- 7 12:20~13:00 ヘイト・スピーチ対策をめぐる意見交換

A-7 近代化・近代社会を問い直す (3日午前, B202)

☆ コーディネーター: 碓井敏正 (思想・文化研究委員会)

- 1 09:30~09:50 北村浩: 近代の個人主義的人間観を再検討する—フィールドにおける実践からの報告—
- 2 09:50~10:10 水野邦彦: 戦後日本の社会意識形成と朝鮮忌避
- 3 10:10~10:30 鬼頭孝佳: 非西欧地域のジェンダー「問題」から近代化を考える
- 4 10:30~10:50 井本三夫: 米騒動・大戦後デモクラシー百周年, 維新百五十周年に近代化を糾す
- 5 10:50~11:10 上野哲: 日本の研究者像とその倫理的問題—近代から現代への変貌—
(休憩10分)
- 6 11:20~13:00 総合討論

A-8 21世紀社会の将来像 (3日午後, B106)

☆ コーディネーター：北村実 (21世紀社会論研究委員会)

- 1 14:00 開会挨拶：コーディネーター 北村 実
- 2 14:05～15:05 塩谷光：21世紀の技術はどうあるべきか
(休憩 10分)
- 3 15:15～16:30 コーディネーターとの意見交換
- 4 16:30～17:30 フロアからの発言と討論

B. 経済・医療・暮らし

B-1 食と農の政策科学—TPPと震災食と農水を考える— (3日午後, B203)

☆ コーディネーター：西村一郎 (食糧問題研究委員会)

- 1 14:00～14:30 西村一郎：本分科会の趣旨, TPPと被災地の農を考える
- 2 14:30～15:00 本間圭吾：TPP協定の発効と相互依存の進展
- 3 15:00～15:30 原英二：TPPと食の安全 —遺伝子組み換え食品を中心に—
- 4 15:30～16:00 足立芳宏：歴史的視点から考える「TPPと農業」—3つのTopicsから—
(休憩 10分)
- 5 16:10～17:30 質疑応答, 議論

B-2 瀬戸内における地域再生の現状と課題—第33回瀬戸内シンポジウム— (3日午後, B204)

☆ コーディネーター：磯部作 (瀬戸内委員会)

- 1 14:00～14:15 磯部作：コーディネーター解題 「瀬戸内における地域再生の現状と課題」
- 2 14:15～14:40 八記久美子：辺野古の新基地建設に瀬戸内の土砂は使わせない
—土砂搬出予定地の現状と闘い—
- 3 14:40～15:05 小淵港：伊方原発訴訟の経過—原告側意見書を中心に—
- 4 15:05～15:30 加藤光一：買い物難民と自治会主体による共同売店の設立と運営
—愛媛県大洲市豊茂自治会の試み—
(休憩 10分)
- 5 15:40～16:05 藤江徹：大気汚染公害地域における健康回復・生きがいくりの取り組み
—西淀川地域での呼吸ケア・リハビリテーションの普及—
- 6 16:05～16:30 塩飽敏史：公害の教訓を活かして未来をつくる
—世界—の環境学習のまち・みずしまを目指して—
- 7 16:30～17:30 総合討論

B-3 地域から日本経済の変革を考える (4日午前, B203)

☆ コーディネーター：入谷貴夫 (宮崎支部)

- 1 09:30～09:40 入谷貴夫：本分科会の趣旨説明
- 2 09:40～10:00 江川章：地域貢献型の新規就農者の経営展開～地域社会とのかかわりめぐって～
- 3 10:00～10:20 村上研一：「輸出大国」の終焉と神奈川県産業・経済
- 4 10:20～10:40 米田貢：循環型地域経済を基礎にした国民経済の再構築の理論的検討
- 5 10:40～11:00 入谷貴夫：市町村から都道府県・国への地域政策の展開
(休憩 10分)
- 6 11:10～13:00 総合討論

B-4 保健・医療・福祉における生命と倫理 (3日午後, B205)

☆ コーディネーター：片平洸彦（保健医療福祉問題研究委員会）

- 1 14:00～14:30 黒須三恵：臨床事例の検討方法（4分割法）について
- 2 14:30～15:00 榎宏朗・片平洸彦：受療を妨げるものは何か？
—経済的要因以外の受療を妨げている要因に関する文献的考察—
- 3 15:00～15:30 早川浩司：ディオバン臨床研究問題と利益相反
(休憩 15分)
- 4 15:45～16:15 寺岡章雄・片平洸彦・榎宏朗：HPV ワクチン安全性に関わる動物実験論文を国際査読誌が
掲載後に不正撤去
- 5 16:15～16:45 片平洸彦・榎宏朗・寺岡章雄：HPV ワクチンの毒性データは国際会議（2014年, 東京）で
誰がどう誤導したか？ —Lee 医師の「告発メール」からの考察—
- 6 16:45～17:30 総合討論

B-5 介護者の人材養成 (4日午前, B204)

☆ コーディネーター：藤本文朗（高齢者・障害者の人権保障研究委員会）

- 1 09:30～09:40 藤本文朗：テーマの要旨
- 2 09:40～12:00 講演 ①鴻上圭太：短大での養成の問題点
②磯野博：外国人労働者の育成
③松田美智子：職場での研修と人的問題
- 3 12:00～13:00 討論

C. 公害・環境・エネルギー・災害問題

C-1 福島原発災害5年

第1部 津波・地震と原発災害, 再稼働問題 (3日午前, B206)

☆ コーディネーター：林弘文（原子力問題研究委員会）

- 1 09:30～10:10 館野淳：福島事故5年後の現状と課題
- 2 10:10～10:50 本島勲：高レベル放射性廃棄物の地層処分に関する最近の動向
(休憩 10分)
- 3 11:00～11:40 竹本修三：地震と活断層—熊本地震を含む
- 4 11:40～12:20 林弘文：津波について
- 5 12:20～13:00 全体討論

第2部 原発裁判の争点と科学者の寄与 (3日午後, B206)

☆ コーディネーター：山本富士夫（原子力問題研究委員会）

- 1 14:00～14:20 山本富士夫：開会宣言と目的
- 2 14:20～14:40 井戸謙一：原発裁判の現状～司法は原発廃絶へ道筋をつけることができるか～
- 3 14:40～15:00 山本雅彦：大飯原発訴訟と若狭湾原発群の集中立地の危険性
- 4 15:00～15:20 富田道男：原発裁判と日本国憲法
—高浜原発3,4号機, 川内原発1,2号機事件をめぐる—
- 5 15:20～15:40 西山勝夫：福井県および福井原発周辺の府県における原子力災害対策
(休憩 10分)
- 6 15:50～16:10 宗川吉汪：健康被害を原発裁判争点の前面に！
- 7 16:10～16:30 吉村良一：福島原発事故被害賠償の現段階
- 8 16:30～16:50 除本理史：原発事故による「ふるさとの喪失」と被害回復
- 9 16:50～17:10 山本富士夫：新・もんじゅ裁判の意義
- 10 17:10～17:30 山本富士夫：総括と閉会宣言

C-2 原発事故から避難する権利 (3日午前, B207)

☆ コーディネーター：宗川吉汪（京都支部）

- 1 09:30～09:55 福島敦子：棄民政策の中の強制帰還
- 2 09:55～10:20 井上大樹：福島からの子育て家庭の避難者の現状と長期受け入れの課題
- 3 10:20～10:45 井戸謙一：子どもの避難について
- 4 10:45～11:10 磯野弥生：オーフス3原則から見る福島原発事故「処理」と「復興」
- 5 11:10～11:35 宗川吉汪：「棄民政策」としての20mSv被ばく強制帰還
- 6 11:35～12:00 大倉弘之：福島県の小児甲状腺がん多発について
- 7 12:00～12:25 市川章人：避難計画について
- 8 12:25～13:00 参加者発言（お一人5分）

C-3 公害・環境問題の現在 (3日午後, B207)

☆ コーディネーター：畑明郎（環境問題研究委員会）

- 1 14:00～14:20 久野勝治：福島原発事故による放射能汚染問題の現状と今後の課題
- 2 14:20～14:40 後藤隆雄：大都市中心部に次々増設される石炭火力発電所の環境リスク
- 3 14:40～15:00 山田大邦：大型風力発電施設からの(超)低周波音発生と健康被害
- 4 15:00～15:20 高岡滋：水俣病の広がりはどのように確認されてきたか
- 5 15:20～15:40 林節男・畑明郎：富山県立イタイイタイ病資料館の役割と今後の発生源対策の課題
(休憩10分)
- 6 15:50～16:10 畑明郎：滋賀県下の廃棄物問題
- 7 16:10～16:30 伊藤章夫・天谷和夫・粟屋かよ子・鈴木一義：NO₂月間計による新たな市民運動の展開
- 8 16:30～16:50 小林芳正：市中にまん延する低周波公害音源
- 9 16:50～17:10 尼川大作：農薬ネオニコチノイドの問題点を見る—主に神経生物学の観点から
- 10 17:10～17:30 河内俊英：ネオニコチノイド系農薬汚染とその他農薬問題—TPPも視野に入れて

C-4 大震災（阪神・淡路, 東日本）からの教訓をどう生かすか (4日午前, B205)

☆ コーディネーター：綱島不二雄（宮城支部）

（第1部）

- 1 09:30～09:45 綱島不二雄：本分科会開催の主旨説明（司会）
- 2 09:45～10:00 岡田知弘：「創造的復興」と「人間の復興」
- 3 10:00～10:15 宮入興一：被災自治体の復興行財政問題と今後に向けた改革の課題と展望
- 4 10:15～10:30 嶋田一郎：東日本大震災復興5年の教訓—復旧・復興と防災・減災の区別
- 5 10:30～10:45 上野鉄男：東日本大震災からの復興の防災対策の問題について

（休憩10分）

- 6 10:55～11:45 総合討論（パネラー間, 全体）

（第2部）

- 7 11:45～11:55 山崎誠：放射能汚染廃棄物処分問題に対する科学的検討
- 8 11:55～12:05 高橋智子：宮城県内の放射能汚染廃棄物と特措法—学ぶべきことは何か
- 9 12:05～12:15 井原聡：放射性物質汚染対処特措法という廃棄物処理法について
- 10 12:15～13:00 総合討論（全体）

C-5 災害問題分科会 (3日午後, B209)

☆ コーディネーター：中山俊雄（災害問題研究委員会）

- 1 14:00～14:25 上野鉄男：2015年9月の鬼怒川の洪水・水害とダムの役割
- 2 14:25～14:50 土屋十囂：2015年9月鬼怒川水害の要因に関する河川の技術的考察
- 3 14:50～15:15 粟野宏：降雪量の評価について—2014年東日本大雪害の教訓—
- 4 15:15～15:40 古儀君男：破局噴火への備えを考える
- 5 15:40～16:05 西山豊古：天井板の連結構造が大惨事をまねいた—笹子トンネル事故再考—
(休憩 15分)
- 6 16:20～16:45 坂巻幸雄：「災害弱者」の視点からみた防災・減災対策の課題
- 7 16:45～17:10 奥西一夫：最近の災害論の展開と日本科学者会議等における災害研究
- 8 17:10～17:30 総合討論

C-6 COP21 パリ協定を人類の未来につなぐ (4日午前, B206)

☆ コーディネーター：岩本智之（中長期気候目標研究委員会(JSA-ACT)）

- 1 09:30～09:50 歌川学：パリ合意の結果を受けた中長期国内対策の技術的可能性について
- 2 09:50～10:10 中塚武：気候変動によって人間社会に何が起きるか—歴史からの教訓—
- 3 10:10～10:30 今清水雄二：日本国域（列島）の温暖化
- 4 10:30～10:50 今清水雄二：地球温暖化におよぼす化石燃料（地下資源）エネルギーの消費の影響
(休憩 10分)
- 5 11:00～11:20 草野清信：持続可能な社会の建設（その4）—水素の液化 CO₂フリー社会 水素社会
- 6 11:20～11:40 河野仁：風車騒音の基準とセットバック距離について—風力発電の普及の為に
- 7 11:40～12:00 小林芳正：風力発電の副産物：超低周波音公害
- 8 12:00～13:00 総合討論

D. 科学・技術・教育・社会

D-1 第6回複雑系科学シンポジウム (3日午前, B204)

☆ コーディネーター：長野八久（複雑系科学研究委員会）

第1部 批判的实在論と複雑系社会科学

- 1 09:30～10:30 佐藤春吉：批判的实在論の社会科学論および社会存在論の特徴
- 2 10:30～11:00 討論
(休憩 15分)

第2部 一般研究発表

- 3 11:15～11:45 嶋田一郎・小山富男：「複雑系社会変革理論」の展開
—長期から短期的地域的適用の可能性
- 4 11:45～12:15 白井浩子：生物進化と社会発展 —大枠の必然と小枠の偶然
- 5 12:15～12:45 長野八久：人間社会における共, 公, 個の進化
- 6 12:45～13:00 総合討論

D-2 後期中等教育・高等教育における「無償教育の漸進的導入」 (3日午前, B205)

☆ コーディネーター：細川孝（京都支部）

- 1 09:30～09:40 渡部昭男：趣旨説明
- 2 09:40～10:20 大岡頼光：高等教育の公費負担の逆進性問題をどう乗り越えるべきか
- 3 10:20～10:35 水谷勇：指定討論①－米国の動向を踏まえつつ
- 4 10:35～11:00 第1報告をめぐる討論
(休憩 10分)
- 5 11:10～11:50 佐野修吉：奨学金・ブラックバイト・生活実態調査から見える若者の貧困
- 6 11:50～12:05 渡部昭男：指定討論②－韓国の動向を踏まえつつ
- 7 12:05～12:30 第2報告をめぐる討論
- 8 12:30～12:55 総合討論
- 9 12:55～13:00 細川孝：まとめ

D-3 産軍学共同の推進, イノベーション実現のための「大学改革」等で日本の学術研究はどうなるか
－科学技術基本計画 20 年を検証する－ (3日午後, B102)

☆ コーディネーター：兵藤友博（科学・技術政策委員会）

- 1 14:00～14:10 兵藤友博：本分科会開催の趣旨説明
- 2 14:10～14:35 野村康秀：科学技術基本計画路線と科学技術関係予算の検証
- 3 14:35～15:00 齋藤安史：産業界主導の科学技術基本計画
- 4 15:00～15:25 兵藤友博：オープンイノベーション政策と学術研究体制
(休憩 10分)
- 5 15:35～16:00 高橋智子：地方国立大学の運営実態と科学技術基本計画
- 6 16:00～16:25 川中浩史：科学技術基本計画での国立研究開発法人の存在意義
- 7 16:25～16:50 河村豊：軍学共同と科学技術政策
- 8 16:50～17:30 総合討論

D-4 研究不正の実態と有効な防止策を考える (3日午後, B210)

☆ コーディネーター：丹生淳郷（科学者の権利問題委員会）

- 1 14:00～14:05 丹生淳郷：本分科会開催の趣旨説明
- 2 14:05～14:45 榎木英介：研究不正の構造的背景～生命科学系を中心に考える
- 3 14:45～15:10 原田英美子：研究不正ラボでは何が起きているか－事例に学ぶ
- 4 15:10～15:35 高橋礼二郎：井上明久（前）総長の特許不正疑惑と東北大学への監査請求
- 5 15:35～16:00 大村泉：研究不正疑惑に関わる井上名誉棄損裁判の結末
(休憩 10分)
- 6 16:10～16:35 菊地重秋：我が国における研究不正の傾向と防止対策の方向性
- 7 16:35～17:00 湯浅精二：「権利・地位」と「倫理」文書の国際社会への発信
－JSA 活動の国際化に向けて－
- 8 17:00～17:30 総合討論

D-5 科学・技術（学問）をめぐるジェンダー問題 (4日午前, B207)

☆ コーディネーター：朴木佳緒留（女性研究者技術者委員会）

- 1 09:30～09:40 朴木佳緒留：本分科会開催の趣旨説明
- 2 09:40～10:00 小畑千晴：子育てをめぐる女性研究者の現状と課題—臨床心理学の立場から—
- 3 10:00～10:20 服部敬子：3人子育て中の『問題』生起とその克服
—同僚と保育園, ママ・パパ友に支えられて—
- 4 10:20～10:40 小尾晴美：研究職1年目のWLB上の課題
—『保育労働』を研究対象にする女性研究者の立場から—
- 5 10:40～11:00 岸田未来：出産・子育ての期間をどう考えるか—子育て中の女性研究者の立場から—
(休憩15分)
- 6 11:15～13:00 総合討論

D-6 大学院生, 若手研究者の研究環境とJSA活動の意義 (3日午後, B101)

☆ コーディネーター：土肥有理（東京支部大学問題院生研究会）

- 1 14:00～14:10 挨拶・趣旨説明
- 2 14:10～14:40 土肥有理：全院協取り組み報告・大学院生と自治
- 3 14:40～15:10 杉浦・加賀美（報告者）：奨学金問題
- 4 15:10～15:40 近間由幸, 富山仁貴：関西取り組み報告
(休憩10分)
- 5 15:50～16:20 真嶋麻子：若手研究者10年の歩み
- 6 16:20～17:20 総合討論
- 7 17:20～17:30 閉会挨拶

D-7 大学の危機を乗り越えるために—財界の利害優先から市民視点への転換を目指して—
(4日午前, B208)

☆ コーディネーター：佐久間英俊（大学問題委員会）

- 1 09:30～10:10 佐藤和宏：大学院生の経済・研究実態とその改善に向けて
- 2 10:10～10:50 齋藤安史：研究開発力強化のための人材育成にどう対処するか
(休憩10分)
- 3 11:00～11:40 佐久間英俊：現代日本の大学問題と解決方向
- 4 11:40～12:20 細井克彦：自主的・民主的・創造的な大学改革に向けて
—経済成長のための大学政策から民主主義のための大学政策へ—
- 5 12:20～13:00 総合討論

D-8 リニア中央新幹線問題の検討と運動・経験交流 (4日午前, B209)

☆ コーディネーター：長田好弘・中須賀徳行・橋本良仁（JSA リニア問題研究会）

- 1 09:30～09:35 中須賀徳行：開会挨拶
- 2 09:35～09:55 坂巻幸雄：リニア中央新幹線のルート選定と既往の鉱業活動
- 3 09:55～10:15 庄司善哉：リニア新幹線岐阜県駅・車両基地設置と中津川市の動き
- 4 10:15～10:35 中野貞彦：リニア中央新幹線の静磁界と超低周波磁界の健康影響問題
- 5 10:35～10:55 西川榮一：リニア中央新幹線, そのスピードについて考える
(休憩 10分)
- 6 11:05～11:35 中川武夫：リニア新幹線の環境影響評価書の問題点と今後の課題
- 7 11:35～11:55 関島保雄：リニア新幹線工事認可取り消し訴訟の提起と今後の戦いについて
- 8 11:55～12:15 橋本良仁：リニアの事業認可取り消し訴訟—その意義と展望
- 9 12:15～12:35 長田好弘：JSA リニア研究会の立ち上げ以降の活動と今後の方針
- 10 12:35～13:00 総合討論

D-9 独立行政法人制度を問い直す—大学・試験研究機関を国民の手に取り戻すには?—

(3日午前, B203)

☆ コーディネーター：小滝豊美（国公立試験研究機関問題委員会）

- 1 09:30～09:35 小滝豊美：本分科会の趣旨説明
- 2 09:35～10:05 国公労連：独立行政法人制度の現状と問題点
- 3 10:05～10:35 小滝豊美：拡大する国立研究開発法人の矛盾
- 4 10:35～11:05 小浦美奈子：国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所の現状と課題
(休憩 10分)
- 5 11:15～11:55 大阪府職労：大阪府における独立行政法人化の現状と問題点
- 6 11:55～12:25 長山泰秀：国立大学法人制度に内在する国立大学変質の契機と発動
- 7 12:25～13:00 総合討論

D-10 科学・技術の現状批判—日本の科学・技術の健全な発展のための課題 part9—

(3日午後, B208)

☆ コーディネーター：長田好弘（東京支部）, 久志本俊弘（大阪支部）, 酒井士朗（東京支部）

- 1 14:00～14:05 酒井士朗：開会あいさつ（本分科会設置主旨説明）
- 2 14:05～14:30 出口幹郎：5回の福島訪問と緻密な調査で確信した棄民政策
- 3 14:30～14:55 山本謙治：学びの場としての市民運動—「原発なくそう市民の会」の活動から
- 3 14:55～14:20 久志本俊弘：大気汚染問題と技術者研究者の役割
—フォルクスワーゲンの不正問題を中心にして
(休憩 15分)
- 5 15:35～16:00 長田好弘：「サイバーセキュリティ 2015」&「サイバーセキュリティ戦略」を読む
—サイバーセキュリティを口実に「警察国家」への道を危惧する—
- 6 16:00～16:25 矢作英夫：「盗聴法」改悪とサイバーセキュリティ推進
- 7 16:25～16:50 酒井士朗：IoT, 人工知能の活用とサイバーセキュリティ
- 8 16:50～17:30 総合討論

- ☆ コーディネーター：長田好弘, 松永光司 (東京支部科学委員会)
- 1 09:30~09:35 松永光司：開会あいさつ (本分科会設置主旨説明)
 - 2 09:35~10:00 長田好弘：「日米防衛協力のための指針」 & 「サイバー基本法」を読む
ーインターネット利用とサイバー空間軍の創設を中心にー
 - 3 10:00~10:25 青水司：被ばく労働と労働問題研究者の社会的責任
 - 4 10:25~10:50 石綿勇：熊本地震における通信・電力インフラの被災と復旧状況
 - 5 10:50~11:15 上野哲：「科学・技術vs自然の脅威」という二項対立論の超克
(休憩15分)
 - 6 11:30~11:55 石綿勇：電力全面自由化について考える
 - 7 11:55~12:20 増澤誠一：変わる？知的財産事情
 - 8 12:20~12:45 野村康秀：TPPと知的財産問題の検証
 - 9 12:45~13:00 総合討論

6. ポスターセッションについて

☆ 申込の締切日を, 8月19日 (金) に延長しました.

- ・上記の分科会以外に, 自由演題としてポスター発表を受付けます.
- ・21 総学の目的の一つに, 各支部参加と活動の交流があります. 「ポスターセッション」は, 支部, 地区, 研究委員会, 会員のさまざまな「交流の場」です. 各支部の創立, 伝統, 現在の活動の紹介などを歓迎します. 各支部が活動する学園, 地域の学問・研究・教育活動, 自治体の政治情勢と支部独自の活動, 他団体との共同活動の紹介を歓迎します. 47 都道府県のすべての支部から, 支部活動の紹介やお国自慢を含めたポスターが集まることを期待します.
- ・ポスターのサイズはA1 用紙縦置き (横59.4cm×縦84.1cm) 内のサイズに収まるように準備してください.
- ・掲示は 2日 (金) 13:00 から 4日 (日) 13:00 までです.
- ・3日 (土) 13:00~14:00 はポスターディスカッションの時間としますので, 発表者はポスターの前に立ち, 参加者との闊達な議論を深めてください.
- ・ポスターセッションを申し込む場合は, 申請者氏名・連絡先 (住所, 電話・FAX, E-mail) ・題名・掲示板枚数 (1枚あたりA1サイズ) を電子メール本文中に記入し, p.16 の別紙申込用紙を添付の上, 下記の電子メールアドレスまでお送りください. 申込用紙のテンプレート (Word形式) は下記のホームページからダウンロードできます.
- ・ポスターセッション申込先：日本科学者会議第21回総合学術研究集会実行委員会
E-mail：sogaku21@mbox.kyoto-inet.or.jp
- ・申込用紙テンプレート：<http://web.kyoto-inet.or.jp/people/jsa-k/>
- ・ポスター発表の申込の締切日：7月22日 (金)

7. エクスカーションについて

9月2日 (金) 11:00~12:00 「安重根の遺墨と資料」 (場所：龍谷大深草図書館)

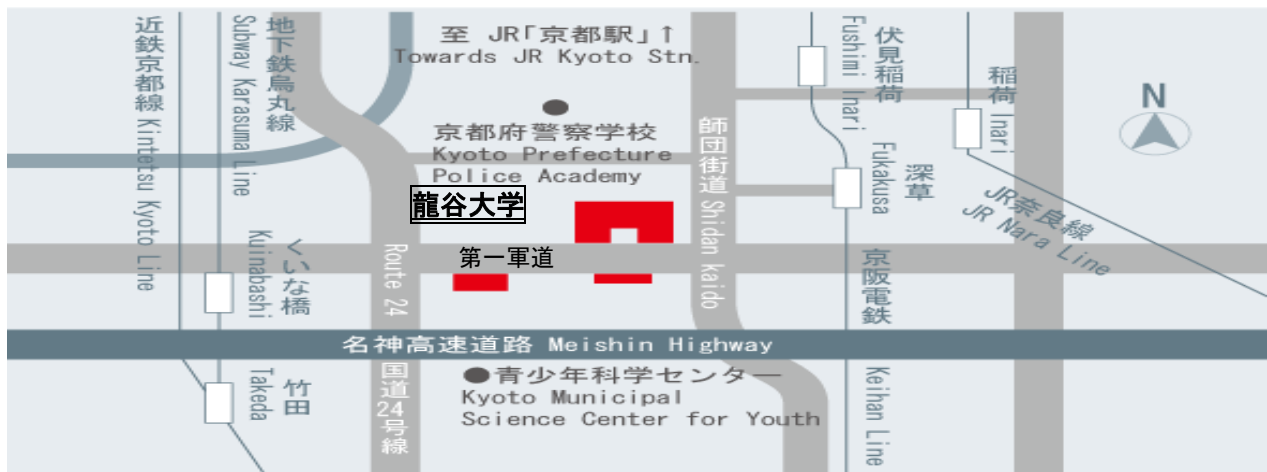
※ 当日10時50分までに, 図書館入口に集合してください (p.15のキャンパス・マップを参照).

【今後の予定】

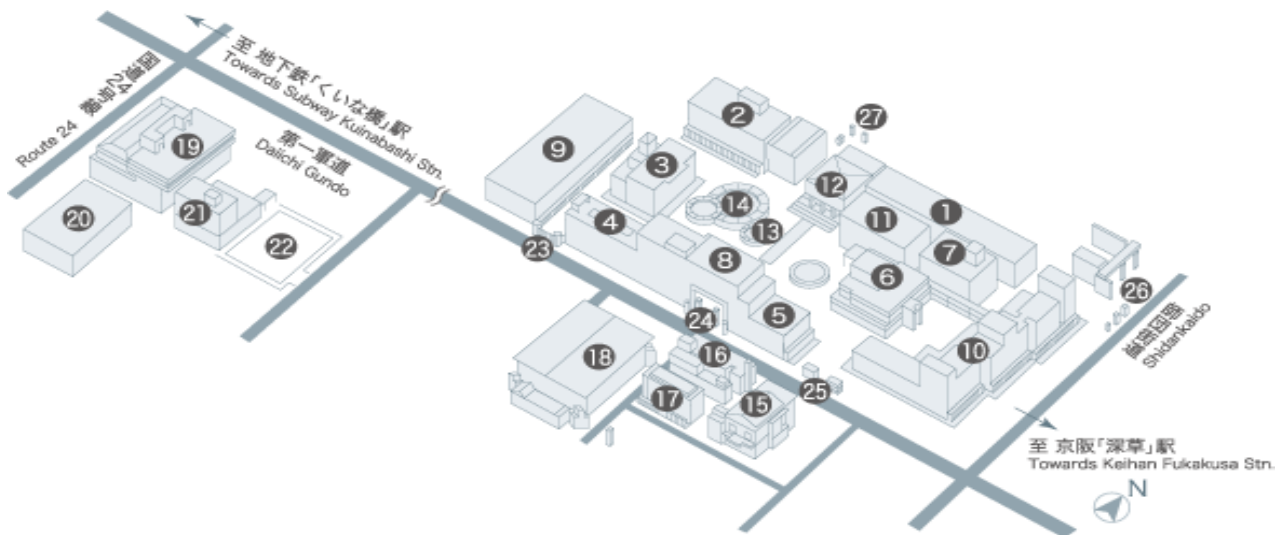
- ・ 事前参加申し込み／締切 2016年8月19日（金）（申し込み期間を延長しました）
- ・ 保育室利用の申し込み／締切 2016年8月19日（金）（申し込み期間を延長しました）
- ・ 21 総学開会開催 2016年9月2日（金）～4日（日）

【龍谷大学へのアクセス】

- ・ 京都駅からJR奈良線で「稲荷」下車，南西へ徒歩約8分。
- ・ 京都駅から京都市営地下鉄烏丸線で「くいな橋」駅下車，東へ徒歩約7分。
- ・ 京阪本線「深草」駅下車，西へ徒歩約3分。



【キャンパス・マップ】



※ 総学の会場である「和顔（わげん）館」は，東門（JR「稲荷」，京阪「深草」下車）を入ってすぐの建物になります（以下のキャンパス・マップの①が和顔館〔総学会場〕，⑪が図書館〔エクスカーション会場〕，⑨が22号館〔懇親会会場〕．東門は⑫．正門は⑭）．

【宿泊について】

京都市内は時期を問わず，ホテルの予約が難しくなっています．早めの予約をお勧めします（実行委員会での斡旋は，行いません）．

【JSA 若手「夏の学校」2016 in 京都～研究と社会運動との両立を目指して～】

詳しくは夏の学校 1st サーキュラーをごらんください。

- ・ 日 時：2016 年 9 月 2 日（金）～4 日（日）
- ・ 開催地：龍谷大学深草学舎（和顔館 B 1 0 1 教室）
- ・ 宿泊先：尹家(ユンケ)（〒601-8006 京都府京都市南区東九条岩本町 18-6）
- ・ 参加費：12,000 円（予定）

【日本科学者会議第 21 回総合学術研究集会実行委員会】

実行委員長	細川孝（京都支部幹事）	
副委員長	重本直利（龍谷大学分会）	宗川吉汪（京都支部幹事）
	富田道男（京都支部幹事）	
事務局長	左近拓男（京都支部事務局長 全国常幹）	
事務局次長	松田正久（全国事務局 全国常幹）	河野仁（全国常幹）
	奥野恒久（龍谷大学分会）	林尚毅（龍谷大学分会）
実行委員	上野鉄男（京都支部幹事）	清水民子（京都支部幹事）
	下門直人（京都支部幹事）	末満英俊（京都支部幹事）
	杉本通百則（京都支部）	菅原建二（京都支部幹事）
	鈴木博之（京都支部幹事）	近間由幸（京都支部幹事）
	中村公彦（京都支部幹事）	永島昴（京都支部幹事）
	福島知子（京都支部幹事）	前田耕治（京都支部幹事）
	山口進次（京都支部幹事）	岩本智之（大阪支部幹事）
	畑明郎（滋賀支部幹事）	後藤隆雄（兵庫支部幹事）
	大西敏夫（和歌山支部幹事）	佐藤宏明（奈良支部幹事）

日本科学者会議第 21 回総合学術研究集会実行委員会

〒113-0034 東京都文京区湯島 1-9-15 茶州ビル 9 階

電話：03(3812)1472 FAX：03(3813)2363